

マイトップニュース

イチゴ摘みが楽しみに



おい町小車田のイチゴ観光農園「いちごめぐり」で、羽を広げたチョウのよな形のイチゴが実っているのが見つかった。

私の家でも毎年イチゴを育てている。畑に摘みに行くけど、二つのイチゴがくっついたような形のものを見つけた。その形はハートのようで、かわいくて見つけた喜びに心が躍る。だからこの記事のようなチョウの形の

い わ や ま な み  
窟 菜那美さん(尚徳中1年)

イチゴを見たらもっとうれしくなってしまうと思う。

このチョウの形のイチゴは展示するそうだが、私も食べたい。この珍しい形のイチゴには、そんな不思議な力があるそう。農園

関係者さえ「こんなを見るのは初めて」とおっしゃっている。この形は相当珍しいのだと思う。記事には「肥料が多いと三つの突起ができる」と書いてある。それなら、私の家の畑でも、肥料をたくさんあげれば面白い形のイチゴができるかもしれない。そして、自分だけのイチゴができる。今年イチゴ摘みが楽しみだ。

**のネ 話々**

チョウが、妖精か、とさか？  
おい町小車田のイチゴ観光農園「いちごめぐり」で、羽を広げたチョウのよな形のイチゴが実っているのが見つかった。農園関係者は「こんなを見るのは初めて。妖精みたい」と目を細めていた。

◆今にも飛びそうなイチゴ◆

本代表(37)にきか(田)ろが赤く始めた。7日にはほとんを真っ赤に染み

山さんは「肥料が多いと三つの突起ができる」とは知っていたが、こんな形になるとは。苗の根がしっかりと張って、栄養をたくさん取ったからかもしれない」と補脚して

おい町小車田は12日に農園の受付に展示する予定。問い合わせは「0561-080808 O (nonna) center」(坂沙紀)